



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 コニシ株式会社

コード番号 4956

URL <http://www.bond.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 横田 隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 管理本部本部長 (氏名) 有澤 彰三 (TEL) 06-6228-2877

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	99,766	0.5	5,115	△3.1	5,224	△3.6	3,278	△1.8
2019年3月期第3四半期	99,249	6.4	5,278	1.9	5,420	3.0	3,337	5.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,611百万円 (43.1%) 2019年3月期第3四半期 2,523百万円 (△46.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	90.41	-
2019年3月期第3四半期	91.85	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	109,368	63,556	55.0
2019年3月期	108,402	60,913	53.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 60,192百万円 2019年3月期 57,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	13.00	-	13.00	26.00
2020年3月期	-	13.00	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	-	-	23.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2020年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当13円00銭 記念配当10円00銭(創業150周年記念配当)

配当予想の修正につきましては、2020年1月24日に公表いたしました「配当予想の修正(創業150周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	141,000	5.1	8,000	13.8	8,100	12.8	5,000	13.5	137.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	40,707,440株	2019年3月期	40,707,440株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	4,432,594株	2019年3月期	4,457,894株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	36,264,726株	2019年3月期3Q	36,340,701株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、第3四半期決算短信(添付資料)P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く個人消費は持ち直しているものの、輸出が引き続き弱含み、製造業を中心に弱さが一段と増しております。また、企業収益は底堅く推移しているものの、製造業を中心に弱含んでおります。設備投資は製造業では減少しているものの、非製造業、ソフトウェア投資は増加しております。先行きに関しては、米中通商問題、中国経済の低迷、英国のEU離脱等による世界経済に与える影響が懸念されております。

当社グループの関連業界では、住宅業界においては、新設住宅着工戸数が弱含みで推移しております。

土木建設業界においては、都市部の再開発や建築物の補修・改修工事の需要および道路、鉄道などのインフラ整備並びに維持修繕の需要は堅調に推移しております。

自動車業界においては、電子化、電動化が進み電子部品等の需要は増加しております。

このような状況のもと、当社グループにおいては、2021年3月期を目標到達年度とする中期経営計画の基本戦略に従い事業を推進して参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高997億66百万円(前年同四半期比0.5%増)、営業利益51億15百万円(前年同四半期比3.1%減)、経常利益52億24百万円(前年同四半期比3.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億78百万円(前年同四半期比1.8%減)となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

① ボンド

一般家庭用関連においては、100円均一ショップ、ホームセンターの販売ルートでの売上は堅調に推移しましたが、コンビニエンスストアの販売ルートでの売上は減少しました。また、手芸ルート向けの新製品「ボンド 裁ほう上手スティック」の販売が好調に推移しました。

住宅関連においては、新設住宅着工戸数が弱含みで推移しておりますが、内装工事用接着剤およびタイル施工用接着剤が好調に推移し売上は増加しました。また、補修用シーリング材および建築資材の製造に用いられる接着剤も好調に推移し売上は増加しました。

産業資材関連においては、自動車・電子部品等に使用される弾性接着剤の売上が増加しました。

以上の結果、売上高は379億54百万円(前年同四半期比1.5%増)、営業利益は33億57百万円(前年同四半期比4.8%増)となりました。

② 土木建設

建築分野においては、外壁はく落防止工法に使用する材料、建築用シーリング材が好調に推移し、売上が増加しました。

土木分野においては、表面保護・はく落防止工法は低調に推移しましたが、連続繊維シート補強工法が好調に推移し、売上が増加しました。

土木建設工事においては、公共事業を中心としたインフラおよびストック市場の補修・改修・補強工事が堅調に推移しておりボンドエンジニアリング(株)の売上は増加しました。一方、近畿鉄筋コンクリート(株)の売上および営業利益は大きく減少しました。

以上の結果、売上高213億4百万円(前年同四半期比3.1%増)、営業利益は12億8百万円(前年同四半期比19.6%減)となりました。

③ 化成品

化学工業業界においては、樹脂原料の販売が低調に推移し、売上は減少しました。

電子電機業界においては、半導体関連商材およびスマートフォン関連商材が低調に推移し、売上は減少しました。

自動車業界においては、電子部品に使用される商材が好調に推移し、売上は大きく増加しました。

塗料業界においては、建築用塗料向け商材が好調に推移しましたが、自動車補修用塗料向け商材およびその他塗料向け商材が低調に推移し、売上は減少しました。

丸安産業(株)は、半導体製造に使用される商材およびコンデンサに使用される商材が低調に推移し、売上および営業利益は大きく減少しました。

以上の結果、売上高402億95百万円(前年同四半期比2.0%減)、営業利益4億7百万円(前年同四半期比22.2%減)となりました。

④ その他

その他は不動産賃貸業となります。売上高2億11百万円(前年同四半期比158.9%増)、営業利益は1億71百万円(前年同四半期比273.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億65百万円増加し、1,093億68百万円となりました。

①資産

流動資産は、商品及び製品が7億86百万円、未成工事支出金が6億5百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が20億21百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億39百万円減の748億66百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が10億59百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ11億5百万円増の345億1百万円となりました。

②負債

流動負債は、未払法人税等が9億68百万円、賞与引当金が4億65百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ17億36百万円減の403億60百万円となりました。固定負債は、長期借入金が1億95百万円減少したものの、その他が2億19百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ60百万円増の54億51百万円となりました。

③純資産

純資産は、利益剰余金が23億35百万円、その他有価証券評価差額金が2億13百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ26億42百万円増の635億56百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2019年4月26日発表時の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,346	22,238
受取手形及び売掛金	39,829	37,807
電子記録債権	3,878	4,122
有価証券	290	287
商品及び製品	6,005	6,791
仕掛品	204	227
原材料及び貯蔵品	1,014	1,283
未成工事支出金	318	924
その他	1,164	1,229
貸倒引当金	△47	△46
流動資産合計	75,005	74,866
固定資産		
有形固定資産	22,256	23,315
無形固定資産	1,219	1,103
投資その他の資産		
投資有価証券	7,317	7,736
その他	2,622	2,364
貸倒引当金	△20	△18
投資その他の資産合計	9,919	10,082
固定資産合計	33,396	34,501
資産合計	108,402	109,368

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,878	31,383
電子記録債務	4,924	4,540
短期借入金	98	137
1年内返済予定の長期借入金	708	374
未払法人税等	1,296	327
賞与引当金	1,017	552
役員賞与引当金	123	70
その他	3,050	2,974
流動負債合計	42,097	40,360
固定負債		
長期借入金	435	239
退職給付に係る負債	1,039	1,075
その他	3,916	4,136
固定負債合計	5,391	5,451
負債合計	47,488	45,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,603	4,603
資本剰余金	4,499	4,513
利益剰余金	50,541	52,877
自己株式	△4,548	△4,522
株主資本合計	55,095	57,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,271	2,485
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	77	△29
退職給付に係る調整累計額	272	265
その他の包括利益累計額合計	2,621	2,721
非支配株主持分	3,196	3,364
純資産合計	60,913	63,556
負債純資産合計	108,402	109,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	99,249	99,766
売上原価	82,495	82,700
売上総利益	16,753	17,065
販売費及び一般管理費	11,474	11,949
営業利益	5,278	5,115
営業外収益		
受取利息	15	10
受取配当金	182	194
持分法による投資利益	23	12
その他	147	159
営業外収益合計	368	376
営業外費用		
支払利息	12	10
売上割引	155	157
為替差損	15	37
その他	43	62
営業外費用合計	227	267
経常利益	5,420	5,224
特別利益		
固定資産売却益	0	38
投資有価証券売却益	0	—
その他	—	0
特別利益合計	0	38
特別損失		
固定資産処分損	31	77
関係会社株式売却損	61	—
その他	—	5
特別損失合計	92	83
税金等調整前四半期純利益	5,328	5,180
法人税、住民税及び事業税	1,598	1,474
法人税等調整額	167	229
法人税等合計	1,766	1,703
四半期純利益	3,561	3,476
非支配株主に帰属する四半期純利益	223	197
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,337	3,278

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,561	3,476
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△951	254
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△70	△101
退職給付に係る調整額	△7	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△11
その他の包括利益合計	△1,037	135
四半期包括利益	2,523	3,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,404	3,378
非支配株主に係る四半期包括利益	119	233

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ボンド	土木建設	化成品	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	37,394	20,654	41,118	99,167	81	99,249	—	99,249
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	497	74	76	647	30	678	△678	—
計	37,891	20,729	41,194	99,815	112	99,927	△678	99,249
セグメント利益	3,202	1,502	523	5,229	45	5,275	3	5,278

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ボンド	土木建設	化成品	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	37,954	21,304	40,295	99,554	211	99,766	—	99,766
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	600	310	83	993	63	1,057	△1,057	—
計	38,554	21,614	40,379	100,548	275	100,824	△1,057	99,766
セグメント利益	3,357	1,208	407	4,973	171	5,145	△29	5,115

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。